

21世紀は お任せ! 赤ちゃん こんにちわ!!



パパ 忠臣さん ママ 真弓さん

ながはま かえで
長濱 楓ちゃん
(平国下地区)
平成19年11月12日生まれ

パパから一言
みんなから好かれる
優しい子に育つ
てね!

いわもと かなた
岩本 空大くん
(平国下地区)
平成19年11月1日生まれ

ママから一言
たくさん食べて大
きくなってね♥



パパ 諒さん ママ 優里さん

ご寄附・ご芳志お礼 (敬称略)

○社会福祉協議会へ 【香典返し】

地区名	世帯主	故人
平国上	平野シエ	喜久
浜崎	永柄盛光	シスヲ
中尾	農中フミコ	幸男
中尾	川野治喜	アヲ
福浦	福田一子	忍
浜崎	大森加奈子	兼義

以上の方から金一封をご寄附いただきました。ご意志に添い有効に活用させていただきます。また、故人のご冥福を心からお祈り申し上げます。

町の人口と世帯数 (平成20年8月1日現在)

人口総数	5,406	(- 9)
(男)	2,550	(- 5)
(女)	2,856	(- 4)
世帯数	2,018	(+ 3)

のさりのきもち日録

先日、親戚の葬儀に出席した。じつに愛に満ちた立派な式であった。私は、お寺の住職が読心地道いお経を聞きながら、故人のこと、そして、人生について思いを馳せてみた。親しい人の死に直面してはじめて、生きるということがどういうことなのか、大げさだけど自分はどう生きるべきなのか、普段は思いもつかないようなテーマと向き合ってみる。もちろんどんなに考えても答えは出ないけど、なんとなくこうなんだと思ったことがあった。これを言うのはちょっと恥ずかしいけれど、思い切って言ってみます。それは、この世界を構成しているのは、物質などではなく人の思いなのではないかということ。きっとこの世の中は、あらゆる『愛』=人を思う気持ちで構成されているんだと思う。そしてそれらが化学反応を起こしながら世界はまわってるんだ! う〜ん、これってノーベル賞もの!? 勝手にそう思いながら、さらに思いをめぐらしてみよう…。社会がグローバル化の波に飲み込まれ、思いやりやさしさから疎遠になった今だからこそ、もっと大きな声で愛を叫ぶべきなんじゃないだろうか。もっと社会全体に寛容さが必要なんだと思う。だからちょっとずつでいい、まずは身近にいる大切な人に寛容な気持ちで接すること、そして愛と感謝を伝えることから始めてみようと思います。愛の伝道師・ビートルズもこう言っていることだし…All you need is love! (daisaku)

つなぎ美術館 Information

中村賢次展 うつろいのゆくえ

2008年9月6日[土]⇒11月9日[日]

1962年、熊本市に生まれた中村賢次は金沢美術工芸大学で日本画を学びました。同大学大学院修了後は、写実性を重んじた円山応挙の流れをくむ京都画壇で頭角を現し、熊本に活動の拠点を移した後は、崇城大学で後進の育成と作品の制作に取り組んでいます。自身を取り巻く日常に内在するモチーフは、常に対象との距離感を意識することで、個人の内的記録を超



《月出づる》2008年 紙本着彩

えた普遍的情景へと変換され、静謐さと緊張感を湛える作品として多くの人々を魅了してきました。日本画という伝統的な世界を通じて、自然界における必然と偶然の営みにかかわる人間のあり方を問いかける作品の数々。四季とともに静かにうつろうものへ注がれる深い情愛がその源流にあり、そこへ自身さえもゆだねる姿勢が現代を生きる日本画家として無限の可能性を感じさせます。本展では、さまざまな情報が錯綜する現代において日本画がもつ意義を思想と技法の両面から伝える中村賢次の近作を約30点紹介します。

アーティスト・トーク

現代を生きる日本画家、中村賢次さんが自身の作品についてお話しします。

日時 9月6日(土)
午後2時～
場所 展示室
参加費 観覧料のみ
話し手 中村賢次

日本画ワークショップ

日本画が初めての方を対象に伝統的な画材のひとつである岩絵具を使って短冊に草花を描きます。

日時 9月14日(日)
午後2時～
場所 アトリエ
対象 中学生以上の初心者
定員 15人
参加費 500円
講師 中村賢次

※事前にお申し込みください。
※定員になり次第締め切ります。

開館時間: 午前10時～午後5時
入館は午後4時半まで
観覧料: 一般300円
高大200円
小中100円
休館日: 水曜日
祝日の場合は翌日

つなぎ美術館
☎61-2222, FAX61-2223